

牛の皮城跡

中国横断自動車道尾道松江線
建設事業のため発掘調査が
行われました。

発掘 尾道遺産

御調の歴史と遺跡

心ころろ尾道

COCORONOMICHI

尾道文化財マップ 〈御調町編〉

Onomichi cultural assets map The volume on Mitsugi town

梅ノ木古墳群

〈山城〉

- 01 福丸城跡
- 02 山奥城跡
- 03 末近城跡
- 04 上田城跡
- 05 丸山城跡
- 06 上月殿城跡
- 07 福元山城跡
- 08 正尺山城跡
- 09 雲雀城跡
- 10 牛の皮城跡
- 11 古城跡
- 12 古城跡

〈遺跡〉

- 01 曾川1号遺跡
- 02 貝ヶ原遺跡
- 03 高尾2号遺跡
- 04 大慶寺遺跡
- 05 本郷平鹿寺
- 06 むかで岩山口古墳群

〈建造物〉

- 01 御調歴史民俗資料館
- 02 旧市村郵便局
- 03 旧村井医院

〈天然記念物〉

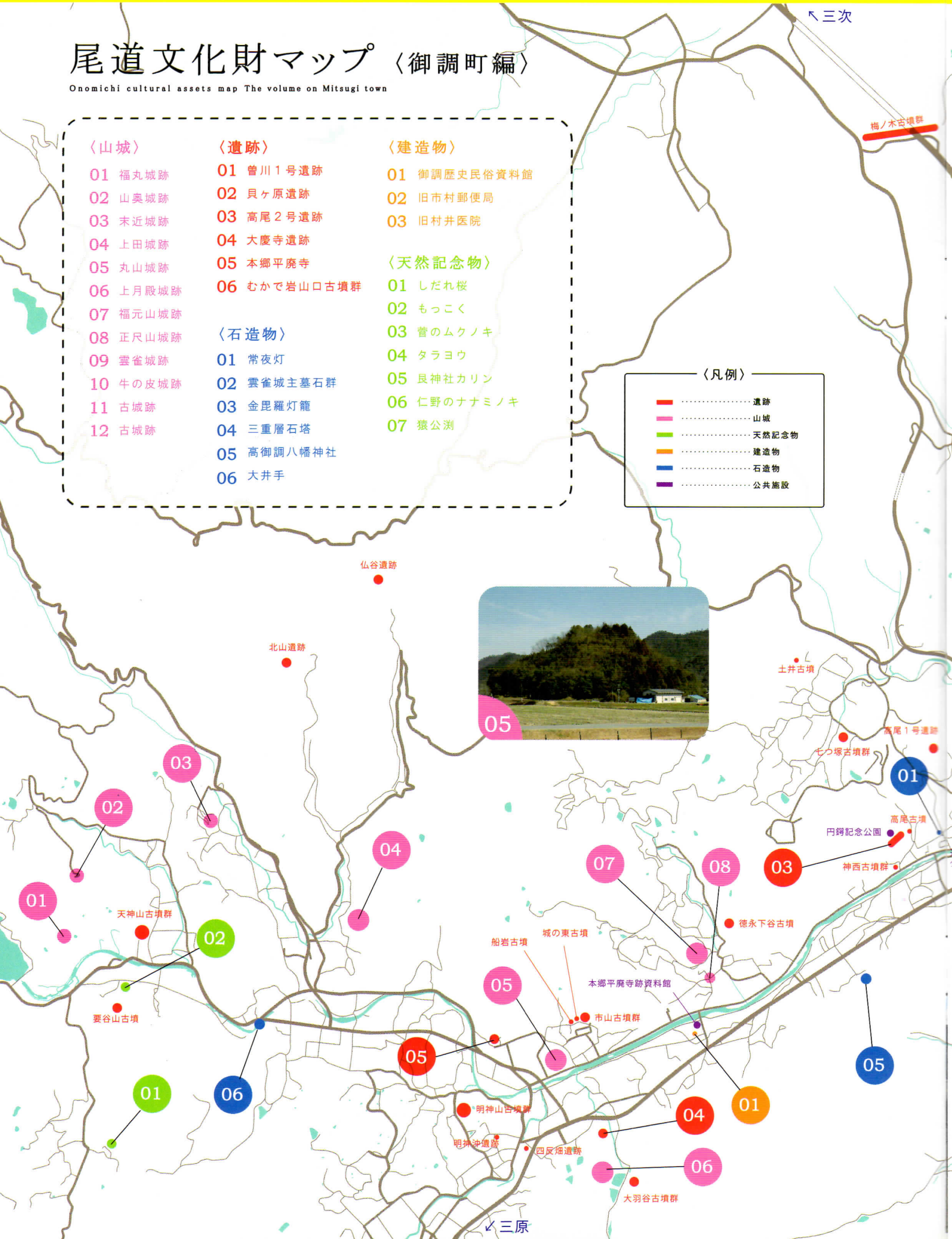
- 01 しだれ桜
- 02 もっこく
- 03 菅のムクノキ
- 04 タラヨウ
- 05 長神社カリン
- 06 仁野のナナミノキ
- 07 猿公淵

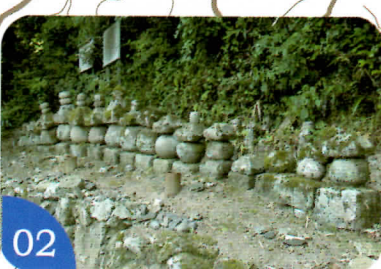
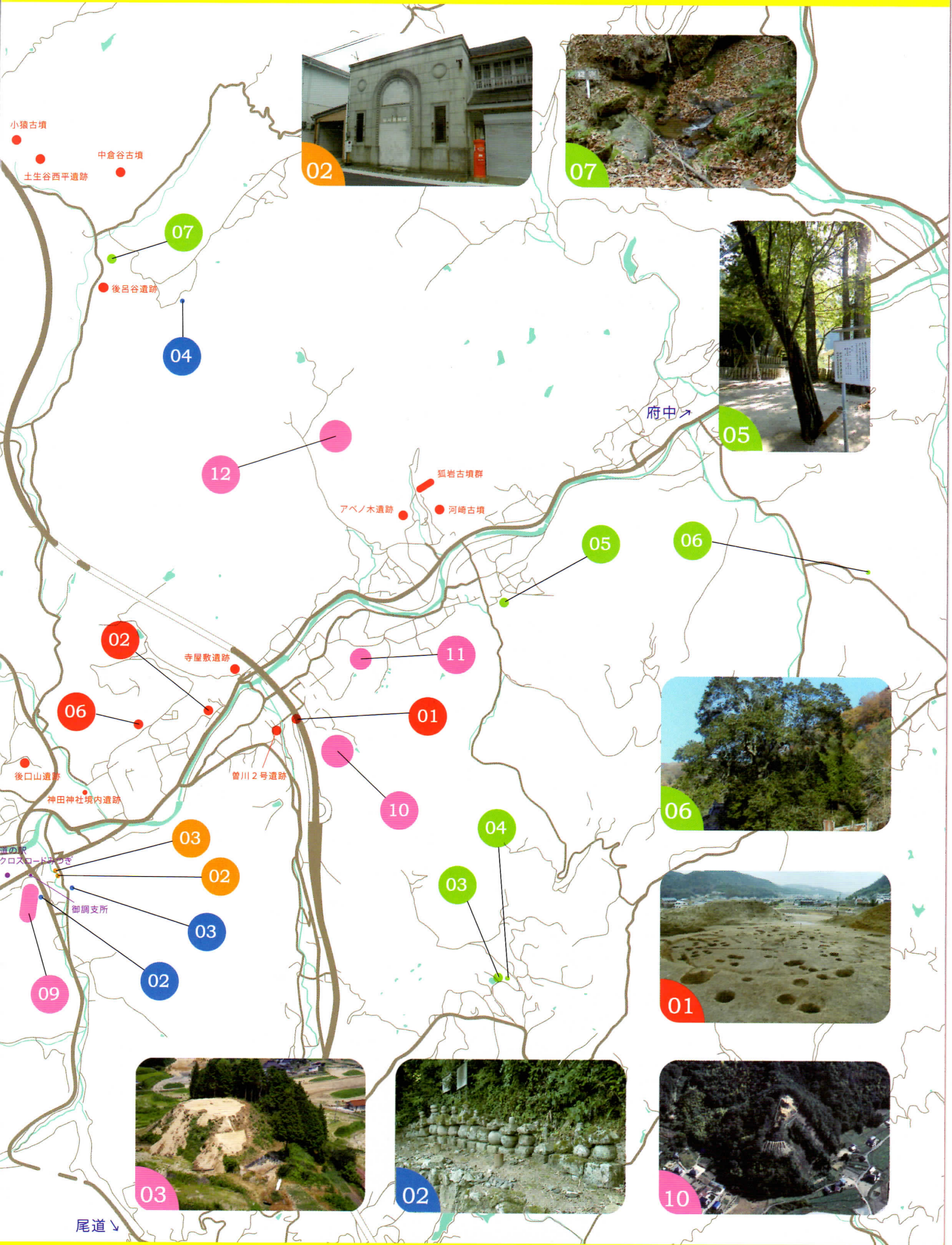
〈石造物〉

- 01 常夜灯
- 02 雲雀城主墓石群
- 03 金毘羅灯籠
- 04 三重層石塔
- 05 高御調八幡神社
- 06 大井手

〈凡例〉

- 遺跡
- 山城
- 天然記念物
- 建造物
- 石造物
- 公共施設





尾道 ↓

縄文土器

御調町大町の曾川1号遺跡は、尾道松江線建設に伴い発掘調査が行われました。住居跡等は発見されていませんが、縄文時代後期の土器や石器が出土しています。

その他にも市内では、高須町大田貝塚（県史跡）、大浜広島遺跡（市史跡）などから縄文土器が出土しており、人々の生活の様子がうかがえます。



大田貝塚から出土した縄文土器



広島県史跡 大田貝塚

市内の縄文遺跡



曾川1号遺跡→地図 01

弥生集落



曾川1号遺跡遠景



竪穴住居跡

弥生時代の遺跡として、曾川1号遺跡、高尾2号遺跡、大慶寺遺跡 貝ヶ原遺跡などがあります。曾川1号遺跡からは、弥生時代後期の竪穴住居跡が発見され、弥生集落が形成されていたことが分かりました。また、備後地域の弥生土器の他に、吉備や山陰の土器が出土しており、他地域との交流をうかがわせます。高尾2号遺跡は、丘陵上にある集落遺跡であり、竪穴住居跡が確認されています。

貝ヶ原遺跡からは、特殊器台という珍しい土器が発見されています。特殊器台は、墓に備えられていたと考えられ、吉備地方を中心に分布している祭祀用土器です。



特殊器台

曾川1号遺跡→地図 01

貝ヶ原遺跡→地図 02

高尾2号遺跡→地図 03

大慶寺遺跡→地図 04

本郷平麿寺と古代山陽道



むかで岩山口第1号古墳

古墳時代には、御調川流域北側に多くの古墳がつけられます。これは、当時の御調地域に有力者がいて、この地域を支配していたこと、御調川流域が交通の重要な場所であったことを示しています。その後、飛鳥時代や奈良時代には、古代山陽道が御調川流域を通っており、さらに発展したことが分かります。古代山陽道沿いには、本郷平麿寺も建立されています。

本郷平麿寺は、7世紀後半に建立された古代寺院で、発掘調査により、金堂や塔の礎石が発見され、たくさんの瓦も出土しました。古代寺院の多くは、古代山陽道沿いに建てられており、当時の繁栄ぶりがうかがえます。



古代山陽道

本郷平麿寺跡→地図 05

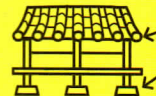
むかで岩第1号古墳→地図 06



本郷平麿寺跡礎石



本郷平麿寺から出土した軒丸瓦



軒丸瓦はの軒先にある瓦、礎石は柱の下にある石のことだよ。



本郷平麿寺から発見された瓦や御調町から出土した弥生土器等は、本郷平麿寺跡資料館に展示しています。資料館では、御調町の歴史や本郷平麿寺について、ご紹介しています。



本郷平麿寺跡資料館



本郷平麿寺跡資料館の展示

本郷平麿寺跡資料館→地図の**公共施設**

※見学するには事前に連絡が必要です。

連絡先は冊子の最後のページをご覧ください。

中世の山城



御調町には、数多くの中世の山城があります。備後地方での尼子氏や大内氏、毛利氏の勢力争いの中で、交通の要衝として、重要な地域でもあった御調地域には、牛の皮城跡や雲雀城跡、丸山城跡など実戦的な山城が分布しています。

末近城跡→地図 03

雲雀城跡→地図 09

丸山城跡→地図 05

牛の皮城跡→地図 10

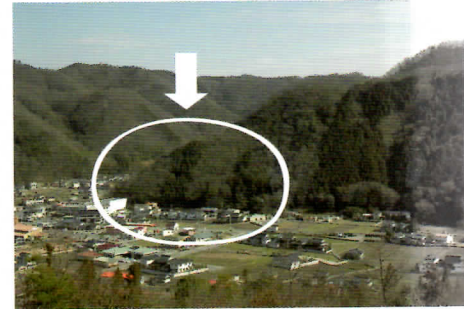
末近城跡（発掘当時）



牛の皮城跡（発掘当時）



丸山城跡



雲雀城跡

銀山街道

江戸時代、御調町には銀山街道が通っていました。銀山街道とは、島根県の石見銀山で産出された銀を尾道まで運ぶために整備された道のことです。街道沿いには人々が宿泊したり、銀の輸送に必要な人馬の継ぎ立てを行うための「宿駅」が各所に設けられていました。宿駅は御調町では旧市村におかれ、伝馬（てんま）という役割を課せられた地元の村人たちが馬の調達や世話などを行っていました。

銀山街道の幅は7尺（約2.1m）に定められ、道沿いには距離を示すための一里塚や、街灯や道しるべの役割である常夜燈、休憩所のための辻堂などが設けられました。現在でもこうした古道や常夜燈などが残っているところがあり、かつて街道が通り、人々が往来していた様子を今に伝えています。



江戸時代の文化 - 石造物と民俗芸能 -



高御調八幡神社



大井手

さまざまな石造物

江戸時代は、平和な時代となり、安定した生活が営まれ、様々な文化が生まれました。多くの石造物が寺社に寄進され、人々は民俗芸能を受け継ぎ、奉納しています。

当時、尾道には多くの石工がおり、鳥居や燈籠、常夜燈、狛犬など、様々な石造物が奉納されています。

また、大規模な構造物として、大井手があります。大井手は、田畑に水を送る井手堰であり、重要な役目を果たしていました。大井手は、江戸時代初期に築造されたことが記録に残っています。

高御調八幡神社→地図

05

大井手→地図

06

受け継がれる民俗芸能

御調町には、神楽やみあがりおどりなど古くから続く民俗芸能が受け継がれています。

御調神楽とみあがりおどりは
広島県無形民俗文化財に指定
されているよ。



みあがりおどり

御調神楽のようす

近代の生活と民俗

御調歴史民俗資料館には、市民の皆さんからご寄贈いただいた民俗資料を展示しています。せんばこきや鍬、鋤などの農機具、機織機や綿繰機、糸車などの機織器具、漆器や行灯などの生活用具、神楽衣装や面、鈴、太鼓などの芸能に関する道具、昔の教科書等の資料など、明治～昭和時代の民俗資料を多数展示しています。



御調歴史民俗資料館館内

御調歴史民俗資料館

尾道市御調町丸河南 86-1
(河内公民館南側)

開館日

毎月第3日曜日
9:15 ~ 16:00

入場無料

御調歴史民俗資料館

→地図 01

本郷平麿寺跡資料館
御調歴史民俗資料館
に関するお問い合わせ先

尾道市教育委員会文化振興課
0848-20-7492



御調歴史民俗資料館 (旧河内村役場)